

10. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告いたします。2008 年度より MSJ-IRI を MSJ-SI と名称を変えて、日本数学会がより主体的に運営に係る形で開催されております。

●今年度の MSJ-SI につきましては以下のように開催されました (詳細は数学通信にて別途報告の予定)。

○2009 年度 MSJ-SI

テーマ : Arrangements of Hyperplanes

日時 : 2009 年 8 月 1 日(土)~13 日(木)

場所 : 北海道大学学術交流会館

組織委員 : 寺尾宏明 (委員長), 阿部拓郎, 吉永正彦, Sergey Yuzvinsky

サーベイ講演 : 8 名

(1 時間×2 回 : 1 名, 1 時間×3 回 : 7 名)

1 時間講演 : 2 4 名

30 分講演 : 9 名

参加者 : 1 7 9 名 (海外 6 2 名)

●2012 年度 MSJ-SI テーマ公募

学術委員会ではこれまでの経験を踏まえて数学会事務局の運営支援体制を協議・検討し、それに基づき、前回の数学通信において 2012 年度 (平成 24 年度) の MSJ-SI についてテーマ公募を行いました。MSJ-SI は、以下の特徴を持ちます。

・東アジアの数学会の協力のもとで、中国、台湾、韓国から、限られた人数の大学院生、若手研究者を、数学会が招待しています。

・専門家向けの講演とともに、大学院生・若手研究者向け、あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行うことを推奨しています。

公募される方は、どうか締切の **2010 年 2 月 19 日 (金)** までに、研究集会のテーマ、提案理由、主要な講演者 (事前承諾不必要) を古田幹雄 (furuta(at)ms.u-tokyo.ac.jp) までお送りください (詳細は前号の数学通信参照)。

●来年度、来々年度の MSJ-SI の予定は以下の通りです (変更の可能性有り)。

○2010 年度 MSJ-SI

テーマ : Development of Galois-Teichmueller theory and anabelian geometry

日時 (予定) : 2010 年 10 月 25 日~30 日

場所 (予定) : 京都大学数理解析研究所

組織委員 : 中村博昭 (委員長), 玉川安騎男, Florian Pop, Leila Schneps

○2011 年度 MSJ-SI

テーマ : Nonlinear dynamics in partial differential equations

日時 (予定) : 2011 年 9 月中旬頃

場所 (予定) : 九州大学医学部百年記念講堂

組織委員 : 栄伸一郎 (委員長), 川島秀一, 隠居良行, 山田直紀, 仙葉隆, 小林孝行, 三沢正史, 辻川亨 (学術委員会委員長 古田幹雄 記)